

名情研だより

第17号 平成24年2月
名古屋市情報教育研究会

事業部の活動

1 事業部「広報部」の活動について

広報部は、次の二つの内容を主な活動としています。

- 名情研だよりの発行
- 名情研Webページの更新と管理

名情研だよりは、年3回、各学期に発行しています。

第1回(15号)は、本年度の研究主題について、第2回(16号)は、名古屋市情報教育研究会発表大会についてお伝えしました。

名情研Webページ

[<http://www.meijoken.com/>]

では、研究部の活動報告や研修会の報告、研修会で利用したファイルのダウンロードなど、様々な情報を発信しています。

3月には、今年度の研究・研修等をまとめた研究集録Web版を掲載する予定です。

ぜひ、一度ご覧いただき、指導や研修の参考にいただければと思います。



〈第1回(15号)〉

〈第2回(16号)〉



〈名情研Webページ〉

2 事業部「校務の情報化推進部」の活動について

(1) 校務の情報化推進部の目的

今年度、新たに発足した校務の情報化推進部は、その名の通り「校務の情報化を推進する」ことを目的としています。これは、効率的に校務処理を進めることにより、生み出される時間や労力を教育活動の質の改善に充てることにあります。

当推進部で、校務の情報化についての研修を行うことにより、今まで以上に教職員が児童生徒と接する時間を作り出し、よりよい教育を実現することを目指しています。

業務の軽減・効率化を図るためには、校務の情報化をどのように推進すればよいかを考え、それぞれの学校における校務の情報化のお手伝いが少しでもできればと願っています。

(2) 今年度の活動内容

【校務の情報化推進部研修会】

小学校を会場として、校務の情報化に役立てることができるソフトウェアや機器利用の研修や、最新の動向についての情報を知らせる研修を1回1時間程度で行いました。また、参加者の勤務校での事例報告や機器紹介など、校務の情報化推進に関わる情報の交換も行いました。

○ 第1回(6月)



表計算ソフトの活用の仕方について、実際にコンピュータを操作しながら、研修を行いました。学年会計簿、体力・運動能力調査の記録の整理など、表計算ソフトの関数を利用した作業の効率化が期待できるファイルを紹介しました。

また、表計算ソフトの機能の一つであるマクロ(簡易なプログラム)作りの実習も行いました。例として、児童生徒一覧表の氏名にふりがなを付けるマクロを紹介しました。一人一人にふりがなを付けていた作業が、わずか3行のマクロで処理できることの実習を通して、参加者は作業の効率化を体感することができました。

その後の情報交換の時間では、参加者が日頃利用しているファイルをお互いに紹介し合い、実際に触れてみるすることができました。



○ 第2回(1月)



「身の回りにあふれる書類の山をデジタルデータにして、少しでもペーパーレスを進めたい…」そんな願いから、この研修では、ドキュメントスキャナを利用したデータ整理に取り組みました。ドキュメントスキャナを販売している会社の方に、学校での活用事例を提案していただき、実際の活用事例を知ることができました。ここでは、書類のデジタル化によるコストの削減、児童生徒の作品のデジタル化など、私たちの現場に即した事例を紹介されました。

また、学校評価用アンケートをドキュメントスキャナを利用して、効率よく集計する方法が紹介されました。専用ソフトによるデータの集計や、表計算ソフトとのデータの連携などを体験することができました。

ドキュメントスキャナを初めて使った参加者からは、「来年度の備品購入計画に要望したい。」という声が、いくつもあがっていました。

【情報教育全体研修会】

夏季休業中に、中学校を会場として1日の研修を行いました。学校現場でのニーズの高いプレゼンテーションソフトの使い方をじっくりと研修しました。

コースを三つに分け、参加者の方には、ご自分のニーズに合ったコースを選択して参加していただきました。



〈Aコース「研究発表用プレゼンテーション作成」〉



〈Bコース「初めてプレゼンテーション作成」〉



〈Cコース「動画を活用したプレゼンテーション作成」〉

AコースとCコースは、それぞれの参加者が事前に用意した素材やテーマでプレゼンテーションを作成しました。

Bコースは、講師が全体に話を進めながらプレゼンテーションを作成しました。

研修中は、講師が参加者の方からの質問に応じたり、作業のお手伝いをしたりして、作成を進めていき、研修終了時には、作品を仕上げることができました。

- いろんな質問に丁寧に答えていただき、ソフトの使い方がよく理解できました。
- 少人数の形でアドバイスをいただける研修はなかなか少ないので、長時間について教えていただき、よく理解できました。(Aコース)
- 初心者なので、基本的なところから専門用語を使わずに説明して下さったので、分かりやすかったです。(Bコース)
- 研究発表、授業、総合的な学習の時間で活用できそう。作業短縮になると感じた。
- 今回の経験を生かし、子どもたちにより楽しい教材を提供できるようにしていきたいと思います。(Cコース)

今後も、皆さんのニーズに応えることができる研修や情報の提供ができるように活動していきたいです。

【情報提供】

名情研Webページから、研修会で用いたファイルをダウンロードできるようにし、研修会参加者以外にも利用していただけるように環境を整えています。

これらの研修会は、名古屋市立の全小・中・特別支援学校の情報教育主任に案内を送付し、名情研会員以外の皆さんにも参加を呼びかけていただいています。

詳しい内容は名情研Webページをご覧ください。